

# ◇どんな壁でも挑戦します 「吸盤戦士ののぼる君」 未来を創るロボット製造業

小川優機製作所（横浜市保土ヶ谷区坂本町、小川安一社長、045・332・2721）は、1960年の設立以来長年に亘り、コネクター並びに設備関連機器の受託生産を行っている。それらを通じて培ってきた技術力を背景にして製作したのが「吸盤戦士ののぼる君」である。

「のぼる君」は、ビル・マンション等の建物の壁面を電気真空パッド吸盤で吸着しながら上下に走行し、高層ビルの窓清掃や壁面補修、塗装、壁面診断等を行うために、他社のアプリケーションと組み合わせ使用することを念頭に開発されたものである。平成20年の建築基準法の改正により、ビル・マンション等のメンテナンス補修検査が義務づけられたこともあり、活用用途が広がることが期待されて

いる。日々改良を加えており、現在ではタイル張りの壁面でも昇降可能なパッドを開発済みである。

昨年、東京ビッグサイトで開かれた次世代ロボット製造技術展や国際ロボット展に「のぼる君」を出品しているが、実際に壁面を走行する場面を見ると、スムーズな走行と段差を乗り越える技術力に驚かされる。同社のロボットは段差5センチまでを乗り越えることが可能である。

足場を作るのに一棟のビルでは250万円程度の費用がかかるところ、同社のロボットを使えば、足場の必要性がなく、約5分の1程度の費用に抑えることが可能だ。

「のぼる君」の将来へ向けての研究や事業化へ向けては、パートナー企業との共同作業による成果達成を志していきたい」と小川社長は語る。

日々進化を遂げる「吸盤戦士ののぼる君」



「のぼる君」の生みの親の小川社長

小川優機製作所